

◎第一回公開支部会報告「多様性について考える」

令和6年3月6日(水)18:30-19:45 むつ市・まさかりプラザ 集合のみ

参加・13名(会員12名・非会員1名)

むつ市在住の性的少数者の68歳の方から座談会形式でお話をお聞きしました。小学校低学年で自分の体に違和感を持ったこと、とにかく隠したかった・知られなくなかったこと、ご両親のために結婚、子どもが出来たらカミングアウトするつもりが配偶者に先立たれ、親権の問題で性別の変更が制限が出来たことなど、赤裸々に話して頂きました。54歳で性別適合手術を受け、戸籍が変わった時は本当に嬉しかったそうです。「パートナーはいるんですか」という質問には顔を赤くされ、答えて頂けませんでした。

漁師をしながら船舶に関する資格を取り、38歳から県職員としてむつ市に勤務、定年後はむつ市の繁華街でスナックを経営されています。「老後のためだけど儲けられない」と笑っていましたが、3月にはお店を広げられたそうなので、春になったら支部の懇親会をやらせて頂く予定です。

娘さんのこと、性転換後の職場での経験、トイレやお風呂の問題などに関するお考えもお聞かせ頂きました。もっともっと深めたい話題ばかりでしたが時間が足りませんでした。

「LGBT とひとくくりにされるけど、一人ひとり皆な違う」と話していたのが心に残っています。



◎青森大学むつキャンパスでの勉強会の取り組み

2022年にむつ市に青森大学のキャンパスが出来ました。社会福祉士会として何かつながることは出来ないかと考えていたところ、チャンスを掴むことが出来ました!!卒業生の槻館くんに交渉窓口になって頂き、社会福祉士志望の1年生3名と勉強会をしたり、ボランティアや施設見学等のコーディネートをしたりと一緒に活動出来ました。(勉強会等6回、施設見学・実習3か所です)

3名とも地元で社会福祉士として働きたい、という明確な目標をお持ちでした。2年生からは青森市のキャンパスで、いよいよ福祉についての学びが始まるそうです。青森に行っても社会福祉士会の活動にお誘いしたいと思っております。また、新しい学生さんとの学びも続けていこうと相談中です。



講師・会員の荒井辰人さん



講師・むつ下北保護司会の保護司の方